

## 議題1 海津市名古屋圏アクセスバス アンケート調査の実施について

### 1. 調査目的

海津市では、名古屋圏への交通アクセスの改善を目指しており、市民の通勤・通学等の足として名古屋圏アクセスバスの導入を検討している。市民の名古屋方面への移動実態や市民の意見を踏まえた運行計画を検討する際の材料とするため、市民を対象に名古屋方面へのアクセスに関するアンケートを実施する。

### 2. 調査対象

海津町・平田町在住の市民（高校生以上）

※調査票は2枚同封し、送付者と世帯で名古屋圏に移動する機会がある1名に回答いただく。

※住民基本台帳より対象者を抽出する。

### 3. 配布・回収方法

配布：郵送配布

回収：郵送回収

### 4. 配布数・回収目標

配布数：1,000世帯（2,000票） 対象世帯の約14%

※10月1日現在 海津町：4,520世帯 平田町：2,485世帯 計：7,005世帯

回収目標：450票（回収率30%×1世帯1.5票を想定）

※参考：地域公共交通網形成計画策定時のアンケートの回収率=34.4%（令和元年度）

### 5. 今後のスケジュール

11月25日（金） 発送予定

12月16日（金） アンケート回答期限

翌年1月中旬 アンケート集計結果報告・運行計画案の提示

## ■設問項目

1. 現状の名古屋方面への移動状況（目的・頻度・時間帯・交通手段）
2. 名古屋圏アクセスバスについて
3. 回答者属性

### 1. 現状の名古屋方面への移動状況

調査項目	設問内容	把握したい内容
問1 名古屋駅方面に外出する目的・頻度・時間帯・交通手段	I 通勤・通学 ※平日・休日別 (1) 外出目的 (2) 外出頻度 (3) 外出時間帯(外出・帰宅) (4) 公共交通利用の有無 (5) 利用する駅 (6) 駅等までの交通手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民がどんな目的、どれくらいの頻度、どの時間帯に名古屋方面に外出しているかを聴取し、名古屋方面への移動需要を把握する。</li> <li>・現状、公共交通を利用して名古屋方面へ行く場合に利用されている経路・手段を把握し、所要時間(大回りになっていないか等)、駅までのアクセス性や課題を抽出する。</li> </ul>
	II 買い物・娯楽・通院など ※平日・休日別 設問内容は「I 通勤・通学」と同様	

### 2. 名古屋圏アクセスバスについて

調査項目	設問内容	把握したい内容
問2 利用の意向	(1) 出発地 (2) 接続する駅	・アクセスバスを利用する可能性のある出発地・接続する駅がどこなのかを把握する。
	(3) 運行時間	・運行計画の検討の参考とする。
	(4) 利用したい目的	・どの目的での利用意向が多いかを把握し、想定される需要を分析する。
	(5) 運賃	・アクセスバスの運賃設定の参考とする。
問3 自由意見	—	・運行計画の検討の参考とする。
問4 にしみのライナーについて	・にしみのライナーの利用状況・認知状況	・名古屋圏への交通手段であるにしみのライナーの認知度を把握する。また、現在利用していない方の利用意向を把握する。

### 3. 個人属性

調査項目	設問内容	把握したい内容
問5 個人属性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住地区</li> <li>・年齢層</li> <li>・職業</li> <li>・クルマの利用状況</li> </ul>	・属性別のクロス集計で使用